

合同教育研究会議（1月13日開催）議事概要

1 開催日時

令和3年1月13日（水）13:00～13:43

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、堀江副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、橋本企画本部長、劉国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、
亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、菊池盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、川崎生活科学科長、原国際文化学科長、大志田経営情報学科長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、
長谷川委員（学外委員：東北大学未来科学技術共同研究センター長）
（事務局）鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、藤村企画室長、高橋宮古事務局長、八木主幹、鈴木主幹、吉田主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回国議12月9日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

（1）岩手県立大学グレードポイントアベレージ制度運用規程の一部を改正する規程について（資料No.1）

猪股本部長から資料に基づき、岩手県立大学グレードポイントアベレージ制度運用規程の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

協議事項

（1）年次休暇の取得促進に向けた取組みについて（資料No.2）

鈴木事務局次長から資料に基づき、年次休暇の取得促進に向けた「全学一斉休業日」（窓口閉鎖日）などに合わせて全教職員一括取得する対応案について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認された。

委員から、提案者としての謝意に続き、個人の事情に配慮しながらこの年次休暇の時季指定や計画的付与制度を進めることを学部の教員に周知し、様子を見ながら取得率の改善に取り組んでいくとの発言があった。

委員から、このコロナ禍の状況では、いずれテレワークを考えていく必要があり、その際、就業規則との整合性が問題になると思われるので、事務局の検討課題にしていただきたいとの意見があり、これに対し、鈴木事務局次長から、指摘のとおり課題認識をもちながら取組みたいとの回答があった。

鈴木学長から、他大学では、年次休暇の取得と裁量労働制の関係をどうやって解決しているのか、調べてほしいとの発言があった。

鈴木学長から、年次休暇の取得方法や促進の考え方について、当該協議事項の決定のとおり学内に周知し、実施する中で問題が生じた場合、改めて教育研究会議で協議したいとの発言があった。

報告事項（口頭報告）

(1) 令和2年度岩手県立大学の就職内定状況（12月末現在）について（資料 No. 3）

似鳥本部長から資料に基づき、12月末現在の岩手県立大学の就職内定状況について報告があった。

(2) 認証評価に係る「点検・評価報告書」の仮執筆について（資料 No. 4）

橋本本部長から資料に基づき、令和4年度に受審する認証評価の仮執筆について依頼があった。

鈴木学長から、大学基準協会の認証評価が7年に1回、県の中期計画が6年に1回あるが、オーバーラップする部分は1回で作成する方法を考えてはどうかとの提案があった。

委員から、4月以降に仮執筆の原稿を添削することが学部の役割かと思っていたが、それ以前でも情報提供を求められれば対応するという認識でよいかとの質疑があり、これに対し、橋本本部長から、1月下旬から3月下旬にかけては、各本部及び総務室において仮執筆を行い、学部に照会や確認がある場合に対応いただき、4月以降は、仮執筆の内容への追加、修正作業及びエビデンスの提供等の作業を依頼するものと考えているとの回答があった。

(3) 令和3年度に係る計画の作成について（資料 No. 5）

藤村室長から資料に基づき、令和3年度に係る部局個別及び全学共通の年度計画案作成について依頼があった。

(4) R3年4月以降の学生支援本部長等の予定者について

石堂副学長から、令和3年度4月以降の本部長の予定者を内示したことについて報告があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和2年度岩手県立大学副専攻「いわて創造教育プログラム」第2期生修了証授与式開催結果について（資料 No. 6）

(2) 令和3年度学校推薦型選抜・各特別選抜の入学手続状況について（資料 No. 7）

(3) 令和3年度大学入学共通テストの実施について（資料 No. 8）

(4) 業界研究セミナー（県内企業キャラバン）「オシゴト展覧会 プレ就活編」開催結果について（報告）（資料 No. 9）

(5) Illumination Project with U 点灯式について（報告）（資料 No. 10）

(6) 「いわて GINGA-NET」内閣府特命担当大臣表彰について（報告）（資料 No. 11）

(7) 学業奨励金「被災者特別枠」の廃止について（報告）（資料 No. 12）

(8) 令和2年度知的財産セミナーの開催について（実施報告）（資料 No. 13）

- (9) 令和2年度男女共同参画研修会の実施について（報告）（資料 No. 14）
- (10) 令和2年度ハラスメント防止対策研修会の開催について（資料 No. 15）
- (11) 令和2年度学長表彰の候補者の推薦について（資料 No. 16）

その他

鈴木学長から、アメリカでは一般的である大学が、学生の意見を反映する場を設けることについて、そのうちに話題が出てくると思われるので、そのことを頭に入れておいてもらいたいとの発言があった。